



2009年4月24日 新人職員辞令交付式の後職員歓送迎会記念写真

# 恵明新聞

No.118

令和6年12月1日発行

## 法人の運営理念『子どもとともに』

杉村茂登子前理事長は20歳で終戦を迎えました。終戦後、先生は東京丸の内にある会社で秘書をしていました。お休みの日、友人に誘われて世田谷にある社会哲学研究所へ慰問にいきました。そこにはたくさんのみよりのない赤ちゃんが畳の上で寝かされていました。泣いている赤ちゃんを見ると『おむつをかえてあげて』と声をかけられ、見よう見まねでおむつをかえました。それをきっかけに茂登子先生は社会哲学研究所へ通うようになりました。

研究所を主宰されていた草場孝先生は「今ここにいる赤ちゃんには限らない可能性がある。この子たちを育てることが生きる目的を失ったあなたたちの目標になる」と研究所に集う若者たちに語っていたそうです。

茂登子先生は会社を辞して研究所へ参加をしました。そこで同志である杉村伸平元理事長と出会い、結婚をして静岡恵明学園を二人で立ち上げました。『子ども達とともに過ごしたから混乱の時代をくぐり抜けることができました。子ども達は過酷な戦後を一緒に過ごした同志である』と言っていました。

そして、茂登子先生は『子どもとともに』を法人の運営理念としました。

社会福祉法人静岡恵明学園は今年もたくさんの皆様に支えていただきました。ありがとうございます。くる年がみなさまにとってよい年でありますように。

そして世界中の争いが終結することを願っています。  
みな様よいお年をお迎えください。

社会福祉法人 静岡恵明学園

理事長 杉村 伸一

# 山の家 だより

静岡恵明学園  
児童部



## 言葉を大切に

朝晩、主に三人の幼児と過ごしています。食事の仕方や言葉の使い方など気になる所がたくさんあります。椅子に足を上げて食べている子に対して、つい

「また足を上げて。それじゃ小学生になれないね!」  
と言葉が出てしまいます。また言ってしまうと反省。

「足を下に降ろすとかつこいよ! さすがもうすぐ小学生!」  
こう言えばよかつたかな・・・

静岡恵明学園児童部に就職して20年が経ちますが、こんな後



悔の繰り返しです。年々頭が固くなり柔らかい言葉が浮かばなくなつてきますが、そんな言い訳はしてられません。言葉は言い方によつて相手を傷つけることもあれば、良い気分させることも出来るのですから。

好きなものを先に食べてしまい、苦手な物をなかなか食べる事が出来ない子には、ぬいぐるみと共に、「○○くん、がんばれ!ほらカピバラさんがえらいねつて見てるよ」などと必死で声を掛けること食べてくれることがあります。

こんな時の言葉選びは成功です。時には何を言っても聞いてくれないこともあります。上手いかないことの方が多いです。それでも、優しい言葉を掛けられて育った子は、他の人に対して優しい言葉を掛けてあげられる子になると思います。そう信じて、これからも言葉を大切に丁寧に使つて行きたいと思えます。大好きな子供たちの成長を見守りながら。  
大津 知子(保育士)



## 良薬口に苦し!?

# さくらの家 だより

地域小規模  
児童養護施設

毎日子育てでお疲れの皆様。お疲れ様です。特にイヤイヤ期や思春期真っ只中の子様をお持ちの方、本当にお疲れ様です。疲れますよね。しんどいですよね。分かります。私も恵明学園児童部に入社以降、ひたすら思春期男子の担当をしております。ただ一般家庭においては子ども思春期はある程度で終わりが見えてきますが、私にはそういった類のものは一切な

く、児童が卒園していけば新しい思春期児童を担当するため、永遠と彼らとの楽しく、激しい日々をともしることになっていきます。彼らがアイデンティティ確立のため、悩み、自己嫌悪や無力感に襲われ葛藤する日々を過ごしていくのは理解しています。ただ実際はたまたまものではありません。彼らの武器である屁理屈や自己中心的な主張、そして

お決まりの「うぜー」「だるい。おいおい。どう考えても「うぜー」し「だるい」のはこっちだろうよ。その屁理屈が通用すると思うなよ。と何度も口に出そうになりま

くるはずですが。キモくて結構。それだけあなたを愛している証拠だということを恥ずかしながらに言葉で伝えてあげましょう。その積み重ねが必ず思春期の葛藤の良薬になるはずですよ。  
溝口 翔平(児童指導員)



# はなみずきの家 だより

地域小規模  
児童養護施設

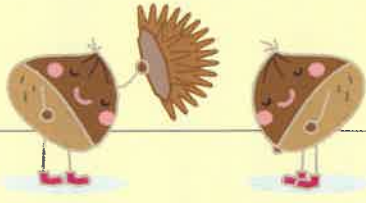
## こんにちは

昨年まで本体施設に勤めていた私は、今年九月から新たにはなみずきの家の職員として仲間入りをしました。地域小規模に務めることは初めてで、家から二歩出れば人が行き交い、周辺には三島の魅力的なお店が並ぶ風景に、新鮮さを感じる日が続きました。まだはなみずきの家に来てから数カ月しか経つ

ていませんですが、この短い間でも地域の繋がりを実感する場面が多く出会いました。そんな地域の繋がりを感づける場面はいつも挨拶から始まります。「こんにちは」家の前を通りかかった通行人に恐れもな

く挨拶をして向かっていく子どもたち。あまりの躊躇いのなさに一瞬肝を冷やするような思いをしましたが、先方からの、「こんにちはは、髪バッサリ切つたのね」と言う言葉を聞いて、その方が初対面ではなく子どもたちと関わりのある方だと気づき、安堵しました。また別の日にも同じような場面。

また、「こんにちは」と挨拶をしている子どもたちを見て子どもたちの中に、自ら地域や人に関わろうとする力が培われていることにも気づきました。家の外でも優しく見守ってくれている人がいるという安心感が関わる力を伸ばしているのだと思えます。これからの豊かで温かな地域の中で、人と関わる温かさや優しさを感じてほしいと思います。  
近藤 冴羅(保育士)



# 児童家庭支援センター スマイルだより



## 里親の啓発活動

毎年十月が里親月間として日本全国で啓発活動が行われています。マスコミでも取り上げられ、各市町の広報誌にも載っています。みなさんは知っていましたか？昭和二十三年に児童福祉法が施行されて、里親という言葉が正式に明記されたのが十月四日であったことから十月四日は「里親の日」となり、毎年十月が里親月間となっています。令和六年度の啓発用パンフレットは世界名作劇場の「赤毛のアン」がモデルになっています。孤児院で育ちあたたかな家庭を心から願ったアンはマシユウとマリラに出会い迎え入れられて二人の愛情に包まれながら自分らしく豊かで幸せな人生を歩んでいく長編の物語です。ア

ニメでキャンディキャンディの主人公も孤児院出身でした。親からの虐待、精神疾患等の病気、生活困窮などが原因で親元で暮らすことができない社会的養護の子どもが日本では四万二千人いると言われています。このうち里親家庭で生活する子どもは三割弱で、七割は施設で生活しています。平成二十八年の児童福祉法の改正では家庭優先の徹底が謳われましたが里親の数は

いまだ足りてはいません。スマイルでは里親相談会、里親カフェを開催し、各市町と協働してパネル展示や出前講座を行うなど地道ではありますが啓発活動を行っています。一組でも多く里親が増えることを願っています。

佐藤 大三  
(里親等相談支援員)

## 人との繋がりを大切に

二度目の育休が終わり、春から職場復帰をされました。年前よりも事業が拡大し、職員皆で慌ただしく活動をしています。相談件数は以前の倍になりました。家庭訪問するご家

庭も増えました。

食糧支援事業では、子ども宅食応援団、政府の備蓄米配布、餃子の王将さんのお弁当配布をしています。近年は物価も上昇し、米不足にも陥っているため食料配布、特に米に關しては対象のご家庭の方々にとても喜ばれています。スマイルに取りに来ていただく方、遠方の方にはスマイル職員が配達に向かっています。対面形式なので相手の表情をよく見ることができず。人間関係が希薄になっている昨今ですが、支援を継続していくと、親御さんもお話してくるようになります。

子育て支援センターでは、お友達からの紹介で来園して下さる新規の方も多く、継続で来園されている方は第二子が生まれ、上のお

子さんが幼



稚園に行っている間に、下のお子さんと一緒に利用してくれ、楽しくリズム遊びをしたり歌をうたっています。月日が経つのも子供達の成長もめまぐるしく早く、今の一瞬一瞬を大切に過ごしたいなど改めて思います。

児相会議では、虐待やぐ犯など様々なケースがあり、残念ながら減少はしていません。子育てはどんな仕事よりも一番大変です。子供達が笑顔で過ごす為には、親が笑顔でいる事です。話をすることで救われる事も多いです。保護者の心に寄り添う支援をこれからも続けていこうと思います。

鈴木 佳奈子  
(相談支援員)



## ボランティア File No.9



## 渡辺農園さん

でサラダほうれん草を水耕栽培なされているのです。「新鮮な野菜を食べてもらえれば嬉しい。」という想いで恵明学園の子どもたち

今年夏は猛暑で野菜の生育も悪く、収穫が十分でない苦労があることを渡辺社長(男性)が話してくれました。また野菜が多く取れるようになったら学園の子どもたちに食べてもらいたいとのこと。今後ともよろしくお願い致します。

長泉町の「渡辺農園」の繋がりは、そこで従事されている山本さんと当時学園職員だった三輪先生が中学校の同級生であったことから始まりました。

山本さんの学園との繋がりは長く、昭和から平成のはじめまで活動していた「三島ワンダーフォール」の一員で、学園の子どもたちと午前山都城跡公園に歩いて行き遊び回り、昼食を学園と一緒に頂きました。お餅と豚汁をいただくという交流をしていたのです。その後学園が西浦久連に土地を借りていた時に「草刈十字軍」と称して、みかん畑の土地の草刈をしてくださった時にも参加して下さるなど、学園の行事に関わってくださっていたのです。

そんな山本さんご実家が「渡辺農園」を営んでいらして、大きなハウス



# 赤ちゃんセンター



## 乳児部

### 言葉の成長

小さい子組の一番お兄さんのSくんは、もうすぐ二歳を迎えようとしています。最近はおしゃべりが増えてきて、Sくんとの言葉のやりとりが、楽しくなってきました。

天気の良い日、Sくんと手を繋いで散歩に行った時のこと。私が「車、いるかなあ」と言うと、「かなあ」と。「バス見れるといいね」と言う。「いいねえ」と私の言葉の語尾を真似して、おもわず笑ってしまいました。お散歩から帰りお部屋に入る前に、「お部屋に入るよ」と声を掛け

ると、「いやもーん」と笑って逃げるSくん。あつという間に抱っこでつかまりましたが、その顔はとても嬉しそうでした。

私の名前は言いやすらしく、「ももちゃん」と上手に可愛く呼んでくれます。「抱っこしてえ」と甘えたい時も、何だか泣きたい時にも、私がいけない時にも、私の名前を口にしてる様子。そんなSくんを見てか、小さい子組で二番目にお兄さんのOくんも私の事を呼んでくれるようになり

ました。最初は「ももちゃん」。初めての呼ばれ方で、

可愛らしく、少しの間もももでいましたが、いつの間にか「ももちゃん」と呼べるようになりました。

子どもたちの言葉の成長は、大人が子どもたちの言葉に耳を傾け、しっかりと聞き取りを通して感じたり分かるようになるものだと思います。その成長を見逃さないようにしていきたいです。

小野 桃子(保育士)

### 優しさ

「晶ちゃんは赤ちゃんいるから抱っこできない?」妊娠をし、お休みをもらい復帰した初日に、子どもたちからかけられた一番最初の言葉でした。

その言葉は、きこしと緒に働くお姉さんたちが私の



体を気づかってくれ、子どもたちに伝えてくれた。いた言葉なんだと思えます。

君は「晶ちゃんもう暗いよ。恐竜怖いからはやく帰らない」と心配してくれ



先日、卒園したAちゃんと電車に乗ると、「晶ちゃん座りな



んね」と伝えると、Hちゃんが「いいよ!日は晶ちゃんが赤ちゃん生まれたら、たくさん抱っこしてもらうから」と言ってくれ、Rちゃんは「ぎゅも好きだからぎゅつして」と言ってくれました。

また私の仕事終わりにになるとMちゃんが私に、「晶ちゃんもう十八時だよ。今日はお迎え?歩いて帰るの?暗いから気をつけなよ」と大人のよ

おなかに赤ちゃんいるし、Aが晶ちゃん助けなきゃ」と言っ三駅分立ち、私に席を譲ってくれました。

妊娠をし、今までのようにできなくなったことも多く、申し訳ないという気持ちになることもあります。でも妊娠をきつかけに、職場の方、家族、そして、子どもたちの優しさに私は日々支えられているのだと改めて気づくことができました。本当にいつもありがとございます。

佐野 晶恵(保育士)

### 楽しい幼稚園

コロナから日常が戻りつつある今日この頃。私がお世話させて頂いている大きい子組さんは、相も変わらず元気いっぱいです。上四人は幼稚園に通っています。私は遅番が多いので幼稚園の登園に付き添うことは少ないのですが、ごく稀に送りに行くときMちゃんに「なんでまりちゃん?」と言われます。四人で行く時の車の座席を誰がどこに座るかで少々もめたりもするけれど、決まればさつとそれぞれの席に座りシートベルトを自分でやりた

いとチャレンジ。みんながんばっています。部屋を出発する時も小さい子組さんにも、調理場と事務所には外から、「元気いっぱい

「いつてきまーす!!」と挨拶をしています。

幼稚園から帰ってきたあとや、お休みの日は幼稚園でやったであろう歌を披露してくれたり、幼稚園の先生を真似ているのか他児達を集めて何やらやっていたりします。みつあみの編み方を教えてもらったようで、女の子たちは髪の毛の長い保育士の所へ行つて「みつあみやりたい」と言っています。

幼稚園でたくさん刺激を受け、乳児さん以外のお友だちや大人と関わることで、人に対しての思いやりの優しい気持ちが育てられていっていると思います。幼稚園生活は緊張もあると思うので、乳児さんにいる時はリラクセスできるように過ごさせてあげたいと思います。

山本 真理(保育士)





暑かった夏

今年の夏は本当に暑くて大変でした。楽しい水遊びが始まったものの、熱中症アラートでプールに入ることが出来ない日々が続くこともありました。



水遊びが初めての小さい子組、慎重ながらもお友だちが遊んでいる姿を見ながらビニールプールに入る事が出来るようになっていきます。

第一関門、ベランダに出ると滑り止めマットの上立たなければなりません。小さなあんよが滑り止めマットの感触を受け止めている事が表情から汲み取れます。元氣よくプールの中に入っていく子もいます。一人一人の子も達の表情を見逃さず不安な子にはそとと寄り添います。お姉さんの手からお水を感じ

水遊びが出来ない日も頭を悩ませます。有り余る元氣をどうしようかと。ボールプール、お魚釣りと。中でもお姉さん達手作りのドクターイエロー、バス、とどめの改札機はリアルでスマホでピット子も達も大興奮！おめめキラキラで楽しんでくれ大満足のお姉さん達でした。

みんなと成長

木部 直恵(保育士)

今年度も半分以上が終わり、残り数ヶ月となりました。私は今年度、二歳児クラスを担当させて頂いています。四月当初は、まだまだみんな幼くて、歩行が不安定だったり、お喋りができなかったり、ママとバイバイができなくて大泣きしていたり...たった数ヶ月前の事を懐かしく思います。今ではみんな、しっかりと自分の足で歩き、朝は笑顔でお部屋に入ってきてくれるようになりました。暑い夏が終わって、数ヶ



月ぶりに園庭へ遊びに行くと、夏前に着ていたぶかぶかの散歩着がちょうど良い大きさになり、園庭までの道のりも、しつかりとした足どりになり、逞しくなった後ろ姿に感心します。お友達がやっている事に興味を示してマネしてみたり、自分から「○○ちゃん！」とお友だちの名前を呼んで一緒に遊んだり、お友だちとの関りも増えてきました。お友だちと笑い合っている所を見ると、私達保育士も自然と笑みがこぼれます。お友だちのおもちゃが欲しくて取ってしまったり、思い通りにならなくて泣いてしまったり、そんな場面もたくさんあります。イヤイヤは成長の証！子どもたちの気持ちに寄り添って、安心して過ごせる場を作っていました。



と思います。そして私自身も、かわいいみんなと一緒に少しでも保育士として、人として成長できたらと思います。

高木 佑香(保育士)

この秋で、入職して八年が経ちました。入職当初は、念願だった子どもと関わる仕事への喜びがあった反面、保育園という初めての世界で保育園看護師が私にできるだろうかという大きな不安がありました。指先にけがをして泣い

励みになること

もに伝わり、余計に不安にさせてしまったのでした。自分の不甲斐なさや子どもへの申し訳なさで一杯でした。

はじめは処置のたびに子どもを泣かせてしまい、私も落ち込むことの連続でしたが、沢山のことを吸収して日々成長し続ける子どもの姿はとて私の励みになりました。「なりたさん！」と名前を呼んでもくれる子がいるのはとても幸せなことです。又、保育園のお姉さんたちが子ども一人一人の気持ち大切に、寄り添い温かく接するのを見て、私もその一員としてお仕事できる事が嬉しく、私もそんなお姉さんになりたいと前向きな気持ちにさせてくれました。



ている子の小さな指に絆創膏を貼るのも緊張できこちなく、手が震えてしまうほどでした。もちろんその子は更にもっと緊張が子ど

少しづつ肩の力も抜けて、子ども達と毎日楽しく過ごしているのは、いつも子ども達やお姉さんからパワーをもらっているからです。まだまだ私自身の課題は多いですが、かわいい子ども達と過ごせることに感謝の気持ちを忘れず、子ども達と共に私も学び成長していけるようにこれからもがんばっていききたいと思います。

成田 佳奈(看護師)

# 子育て支援センター

それぞれの子育て支援センターの  
 “子育て支援センターだより”を紹介します。  
 地域の子育て親子さんたちが多数訪れ、  
 楽しく過ごしています。  
 今年度も楽しく利用できるよう、イベント等  
 用意し、スタッフ一同お待ちしております。

利用日：月曜日～金曜日  
 10:00～16:00  
 子育て相談、園庭開放も随時



残暑厳しい日が続きます。みなさん、この夏はいかが過ごされましたか？  
 これから少しずつ秋の気配が感じられ、過ごしやすいようになってきます。  
 お出掛けしやすい季節になりますので、ご家族でからだを動かしたり  
 お散歩をしたり、楽しく一緒に過ごす時間を持ってみてはいかがでしょうか。

## ちょこっこコラム

～トイレトレーニング～



薄着で着脱がしやすいこの時期は、トイレトレーニングを進めるチャンスでもあります。  
 また、身の回りのことに興味を持ち始め、自分でやろうという気持ちが出てくるときが  
 チャンスです。子どもたちが抵抗なくできるように声かけをしたり環境を整えたり、  
 焦らずに進めていくことが大切です。

● 恵明キッズフヨウビレッジ内  
 三島市芙蓉台2-3-17 tel.055-987-7922

## フリッパー通信

令和6年9月

残暑が厳しく、まだまだ暑さが続いています。熱中症対策をしっかりと行い、十分な  
 睡眠や食事、生活のリズムを整えていきましょう。

今月は敬老の日のカード作りやカラーボール遊びを予定しています。お楽しみに！

## ちょこっこコラム

… 9月1日は「防災の日」です。



9月1日は防災の日。ご家庭の防災グッズは揃っていますか？用意がない方は  
 この機会に揃えておくのと良いでしょう。また揃っていても、食糧、飲料水の期限や  
 懐中電灯の電池残量のチェックなど、いざという時に無かったり使えないのでは  
 せっかくの準備も台無しです。ご家族で確認しあいながら、防災意識を高めてい  
 けるといいですね！

● 恵明キッズサクラビレッジ内  
 三島市文教町2-28-6 tel.055-943-6878

## 宮さんの杜通信



2024年9月号

秋を迎えましたが、残暑で汗ばむ日がいっぱいは続きます。頑固な夏にもう少し付き合うつもりで、引き続き暑さ対策にも気をつけてい  
 きましょう。  
 9月の季節のイベントは「おやこで陶芸」です。宮さんの杜で、親子で陶芸体験を  
 してみませんか？お皿やコップ、箸置きなどの小物や、手形・足形をとってプレート  
 にしたり、好きなものを自由に作ってみてください！  
 たくさんの親子さんの参加をお待ちしております！

★ちょこっこコラム ～早寝早起き朝ごはん～食事編 ★ **朝食**

「早寝早起き朝ごはん」という言葉を聞いたことがありますか？  
 子どもの生活リズムの向上のため、平成18年4月に「早寝早起き朝ごはん」全国協議会  
 が発足し、文部科学省と連携して、推奨している運動です。  
 脳と体を動かすためには、エネルギーが必要です。朝ごはんのエネルギーで体温が  
 上がり、脳と体の働きが活発になります。朝ごはんをしっかり食べましょう！

Q.子どもが朝ごはんを食べない！そんな時どうしますか？

- A. ①好きなものを用意する♪  
 ヨーグルト、フルーツ、菓子パン、バナナ、コーンフレーク、小さいおにぎり、味噌汁  
 野菜ジュース、野菜スープ、ポタージュ、肉まん、チーズ、卵焼き、ウインナー、など  
 ②好きな食器で食べる♪  
 子どもが選んだ食器、お弁当箱に入れる、キャラクターのお皿、など  
 ③無理強いない♪  
 ・大人と食べさせ合いっこをして子どもに食べてもらう。  
 ・大人が食べているところを隣で見せる。  
 ・食べてくれない時は甘い菓子パンやドーナツでも良い。  
 ・どうしても食べてくれない時はあきらめる。  
 ④少し早めに起こして選んでから食べてみる♪  
 ⑤盛り付けを工夫する♪  
 キャラクターマーク入りのおかずをしたり、ご飯に海苔で顔を作る、など



● 三島市大宮町2丁目2-11 tel.055-991-0010

## ぼこ通信



2024.10

「あっ！ひこうきも！」 子どもたちの声に空を見上げると、まっすぐのびていく  
 飛行機雲。「あそこはもくもくもだよ！」うろこ雲が青い空をハクにすてきな模様を  
 描いています。秋ならではの空模様、親子でなかく楽しみたいですね。  
 今月の「ぼこ」は、ハロウィンパーティーを企画しています。仮装してきてOKです。  
 みんなで楽しく遊びましょう！

## ★ちょこっこコラム★

～秋の虫のコーラス隊～

お子さんと草むらで、そっと耳を澄ましてみましょう。  
 秋に鳴く虫の音がやさしく聞こえてきますよ。  
 「チンチロリン」はまつむし、「リーンリーン」はすすむし、  
 「ガチャガチャ」はくつむし、「コロコロリン」はこおろぎ。  
 秋のすてきな音楽会、親子でゆったり楽しみたいですね。



● 恵明キッズコスモスビレッジ内  
 三島市谷田1629-38 tel.055-973-7778

## ローズ通信



2024.9

屋間はまだまだ暑いですが、暑さの中で感じられる涼しい風や、赤とんぼを見かけると、秋の  
 訪れを感じます。今月の支援センターは、「親子でリトミック」を予定しています。  
 ピアノと一緒に楽しく音楽あそびをしましょう。ご予約をお待ちしています。

## ★ちょこっこコラム★ ～ウサギの餅つき～

月がきれいに見える時期です。日本では「ウサギが餅つき」をしているように見えると言われま  
 すが、アメリカでは「ワニ、トカゲ」、インドネシアでは「繻子物をする女性」、アラビアでは「ほ  
 えるライオン」など、国によって色々と違うようです。  
 親子でどんな風に見えるのか、想像してみるのもいいですね。

● 恵明キッズローズビレッジ内  
 駿東郡清水町堂庭89-16 tel.055-943-5519

# フヨウビレッジ



大切な二年を！

三年前に沖縄から移住し、御縁がありフヨウビレッジに勤め始めました。子どもたちは最初は私のなまりに不思議そうな表情を見せていましたが、少しずつ受け入れてくれるようになり、無邪気な笑顔で「先生ー遊ぼう」と話すようになりました。そんな中、今年度のたんぼづくりの担任になり「大好きな子どもたちの先生になれる!!」という喜びの反面、未熟な私が子どもたちの成長をしつかり導いて



多いですが、これからの子どもたちの成長を見守りながら成長を共に喜び、また、様々な体験を通して豊かな感性を育てていきたいと思えます。

野下 桃世(保育士)

## こどもと共に成長を

今年度、わたしは年中組の担任になりました。隣のアジサイ公園の葉も少しずつ紅葉に色付き始め、秋の訪れを感じると共に「もうこんなに月日が経ったのか」と慌ただしい毎日が過ぎていくのを感じています。

ゆり組さんは、なんともいつもとても元気がよく、四月当初も新しい環境への変化もすぐに慣れて、さまざまな活動に楽しく参加することができています。その中でも大きく成長できた体験は、先日行われた恵明なかよしオリンピックです。練習を重ねるにつれ、クラスのお友だちと力を合わせて勝負すること、勝つ喜び、負ける悔しさを味わったり、おゆぎもみんなで大きな声で歌いながら踊り、当日はみんなが「運動会楽しいね」と口にする姿を見て、心も成長しているのだなあと胸が熱くなりました。



また、こどもたちとお友だちの良い所探しをして発表する時間も作っています。四歳児といえはまだ自分の想いを相手にうまく

があると思えます。その中でも、毎日つはお友だちの良い所、かっこいい所を見つけて、少しずつ優しさや相手を思いやる気持ちや育つことにつながればいいなと思っています。

大きい子組さんは、年少、年中、年長組さんと合同で過ごす時間

もあります。異年齢のお友だちと仲良くおにごっこしたり、ニコニコと楽しそうにお話している姿を見ると、こちらまで嬉し

## 子育ての先輩として

負けず、残りの数ヶ月、私も笑顔で頑張ります。飯塚 芽衣(保育士)

私は二年前に恵明学園の員となり、現在子育て支援センターを担当しています。入職する半年前に静岡に引越してきたばかりの上に、支援センター、保育園の仕事のどちらも未経験の私に、フヨウビレッジの先生方は優しい気持ちで、仕事を教えて下さいました。お陰でこの二年間、じゃじゃまらに遊びに来て下さった沢山の親子さんとの出会いがあり、沢山の学びを得ることが出来ました。

当時住んでいた地域の子育て支援を大いに活用し、楽しく子育てをしてきた記憶があります。そして、その後も沢山の助けを得て子育てと仕事を両立して来ましたが、その当時先輩方に掛けて頂いた言葉は「いつか同じ立場の人にあなたが返していけば良いのよ。私達に返す必要はなくて、次の人に返していけば、それで良いのよ」というものでした。この言葉を胸にこれから続く支援センターや、フヨウビレッジの働きの中で、少しでも貰ったものを返していける働きが出来たら良いなと思っています。

毎朝、今日はどんな一日になるかしらと、ワクワクする気持ちを忘れずに。秋山 麻紀(保育士)



く伝えられなかったり、どうしても我慢できない事

い気持ちになります。こどもたちの明るさに

方にも感謝の気持ちで一杯です。私自身の子育ても、



# 恵明キッズ コスモス ビレッジ

いつも応援  
しているよ！

ようやく暑さも和らぎはじめ、子どもたちは園庭に出ると、「すずしい」と言いながら、のびのびと気持ち良さそうに身体を動かしています。

今より組さんは竹ぼうくりを頑張っています。四月から竹馬に乗る前の練習として、少しずつ練習してきました。当初はうまく手足を同時に動かさなかつたり、バランスをうまくとれず、転んで泣いている子もいました。しかし竹ぼうくりの練習がはじまると、みんな真剣な表情で一生懸命取り組んでいて、今ではテンポ良く歩けるようになってきました。時にはまだ転んでしまうこともありますが、「ころんじゃった」と言いながらもすぐに立ち上がり、また練習を始める姿は、とてもたくましく感じます。

「てて！」と意欲的に挑戦する姿が見られます。まだまだうまく、なわとびを回すことが出来ないお友だちもいます。が、毎日前向きに頑張る姿を見ると「がんばってね！」と応援せずにはいられません。

何事にも、楽しみながら、一生懸命、取り組むことが出来るゆり組さん。これから、太鼓の発表会やクリスマス会などの行事が盛りだくさんですが、ゆり組みんなが協力し合い、楽しんでながら体験していくことと思えます。これからも、ひとりひとりの子どもたちの成長を側で見守り、応援していけたらと思います。

岩本真由実(保育士)



保育士として  
二年目になって

私がコスモスビレッジに就職して一年半が経ちました。保育士になって二年目の私は何もわからず、環境に慣れることに必死であつという間に一年が過ぎ

てしまったような気がしています。今年は去年と同様、一歳児のクラスに入ることが多く、環境にはだいぶ慣れてきたため、子どもたちの成長や関わり方などを深く考えられるようになりました。四月に入園したばかりの子たちは毎日泣いて登園し、抱っこして過ごしていた毎日が、今では笑つて「おはよう」と登園したり「先生」と呼んでくれたりと、日々成長を感じる事ができます。また、お友



ような声掛けをしたらいのか、悩むことも増えてきました。子どもが外遊びから帰ってきたくない時、手を洗いたくない時、どのようにならぬように声を掛けました。嫌な気持ちにならずに次の活動に進めるか自分なりに模索したり、先輩方が子どもたちに関わっている姿を見て、真似したりしています。



まだまだ保育士として勉強中の私ですが、子どもたちが園に来ることを楽しいと思つてもらえるように、また、安心してお友だちと遊ぶことが出来るように、困った時に助けてあげたりが出来るように、日々の子どもたちとの関わり方やコミュニケーションを大切にしていきたいと思つています。

宮園 美月 (保育士)

いつも笑顔で

「はるかせんせいおはよう！」私がこども園の先生になって半年が経ちました。半年前は新鮮だった保育室の香りも体に馴染

み、私も少しずつ慣れてきたように感じます。毎日は目まぐるしく過ぎ、先生になつてもたくさん学びを得ている日々です。子どもたちも私の顔と名前を覚え、にこにこの笑顔でいろいろなお話をしてくれるようになりまし。見かけると、「せんせいやっほー！」と元気に声を掛けて



とのできなかった子どもとの絆が少しずつ生まれてきたように感じます。そんな私の一年目の目標は、子どもたちと笑顔で関わることです。私がこどもの立場になつてどんな先生に話をしたくなるか考えたときに、笑顔で話を聞いてくれたり、自分の一生懸命話した話を覚えてくれたり、自分の頑張ったことを一緒に喜んでくれる先生がいいなと考えました。知識や技術はまだまだですが、今の自分が出来ることは子どもたちと笑顔で関わることだと思つています。

ころを学び、

くれる子どもや、最初は私が話しかけると恥ずかしがついてきた子どもも毎日の関わりを通して自分の好きなものやお休みの日の楽しみなどをお話してくれるようになり、保育実習だけでは体験するこ

自分のものにしていきたいと思つています。今は何事も、一喜一憂してしまう私ですが、失敗を恐れずに切り替えながら学んでいき、自分の自信に変えていきたいです。

渡邊 遥香(保育士)



# 恵明コスモス児童センター

## わくわく活動



児童クラブの夏休みは楽しい事がたくさんあります。子どもたちが朝から夕方までいる中で、ずっと自由遊びではさすがの子どもたちもあきてしまいます。そこで、週二〜三回は子どもたちと一緒に何かをして楽しもうという時間をとることにしました。時間としては午前中、一時間から二時間半を目安にその時間だけは自由遊びをやめて、その日利用しているみんなでの遊びを行うおうという事にしました。

その時間を「わくわく活動」という名前でご呼んでいます。毎年いろいろな企画を考えますが、今年の夏はスーパーボールすくい、水遊び、爆弾ゲーム、ボーリング、スイカ割り、ボール運びゲーム、かき氷、新聞ボール玉入れ、などなどです。

この企画も子どもたちに好評で「楽しかったからまたやりたい〜」「や今日のわくわく活動は何をやるの？」など、とても楽しんでくれているように見えました。

今年は、わくわく活動の中で、小学生と園児(年長)で交流しようという取り組みを行いました。みんなでじゃんけん列車で遊び、その後、学校がどんな所なのか？小学生が園児に話をしました。

コスモス児童クラブは子ども園と併設されていて、割と交流がしやすい環境になっています。このような施設はなかなかないと思うので、この環境をいかして園児たちともっと交流していけたらなと思います。

そして、これからももっといろいろな企画を考え、工夫し、子どもたちを楽しませてあげられたいと思っています。



山口 彩奈 (児童指導員)



### コラム

## 第33回夏季オリンピック競技大会2024パリ



2024年7月26日〜8月11日まで、オリンピックがフランスのパリで開催されました。開催会場や企画等、様々なご意見もありましたが、さすがパリだと歴史を感じさせてくれる場面もたくさんあり、趣深いオリンピックでした。

今回、私たちは、園に関係する方や職員の方等の親戚の方等（卓球/バレーボール）が日本の選手としてオリンピックに出場することを知り、このパリオリンピックは特別にみんなで楽しみにしていました。事前のオリンピック特集ではそれまでの練習や努力などの流れなどをまとめた放映もされ、ワクワク三昧のオリンピックでした。また、ついに表彰台に上った姿も見せていただき、とても感動しました。



# 恵明キッズ サクラ ビレッジ



季節とともに

厳しい暑さが続いた夏もようやく終わり、涼しい風が吹くようになりまし

た。公園の葉っぱは色づき、園庭にあるみかんの木には今年もかわいい丸い実が



「子どもには子ども  
の世界がある」  
園の指針にもなっ  
ていますが、これからも  
子どもたちの世界を  
大切に、「一緒に色々  
な発見をして楽し

ながら、健やかに、たくま  
しく成長していけたら  
いいと思います。  
鈴木尚美(保育士)

### 運動会を終えて

九月の終わりに運動会  
が開催されました。今年  
の夏は気温も高く、熱中  
症指数(WBGT)の数値  
も高い日が続きました。  
なかなか戸外での練習時  
間が取れない中、どのクラ  
スも工夫して練習に取り  
組んでいました。以上児ク  
ラスになり、初めての運動  
会に緊張していたすみれ  
組のお友だち。たくさんの  
種目を一生懸命練習して  
いたさくら組のお友だち。  
そしてゆり組のお友だち  
も昨年よりも種目が増え  
ました。練習を重ねてい  
く中で競争心が芽生え、  
勝敗に喜ぶ憂したり、お  
友だちとの仲間意識も強  
くなり「がんばれー」など  
と声援を送ったりする姿  
をたくさん見ることがで  
きました。当日は風が強  
かったのですが、良い天気  
の中、駿河平の芝生グラ  
ウンドで、どのクラスも練習  
の成果を発揮して種目に  
取り組んでいました。つづ  
行事を終え、頼もしく成  
長した姿を見せてくれた  
子どもたちです。  
今、秋風が吹き、隣接



する公園か  
ら金木犀の  
香りが園庭  
まで届くよ  
うになりま  
した。子ども  
たちは戸外  
でのびのびと  
身体を動か  
して遊んでい  
ます。公園に  
お散歩に行  
くと、紅葉  
した落ち葉  
やどんぐり  
を見つけ、た  
くさんの秋  
を感じるこ  
とができま  
す。拾った  
ものを使っ  
て製作遊び  
を楽しんでい  
ます。  
これからクリスマスやお  
楽しみ会など大きな行事  
も控えています。みんな

楽しみながら取り組み、  
日々の生活の中で子ども  
たち一人ひとりの成長を  
見届けていきたいと思  
います。  
長島沙知子(保育士)



### 夏野菜カレー クッキング!

今年度、食育の二環とし  
て、年長組さんと夏野菜  
カレー作りに取り組みま  
した。栄養士として、私は  
初めて食育の計画の立案  
から実施までを責任者と  
して行いました。

年長組さんは、ゴールデ  
ンウィーク明けに、プラン  
ターに土を入れ、ピーマン  
となすの苗を植えました。  
「大きくなーれー!」「美  
味しくなーれー!」と毎日  
様子を見たり、水やりを  
してお世話を頑張る姿が  
見られました。順調に育っ  
た野菜は子どもたちが収  
穫し、キッチンまで届けて  
くれました。「こんなに取  
れたよー!」「大きいのが  
あった!」子どもたちも一  
緒に元気に育っ  
ている姿を見  
て、ほほえまし  
くなりました。  
夏野菜カレー作  
りでもこのピー  
マンとなすを使  
い、他にも五種  
類の野菜を切っ  
てもらいまし  
た。野菜に触れ  
てみて、「トマト  
は柔らかいね」  
「かぼちゃは硬  
いね」など楽し  
そうに話して



自分たちの手で育てた野  
菜をいただくこと、調理  
を手伝うこと、どちらも  
貴重な体験であったと思  
います。  
私自身もこの夏野菜カ  
レー作りが無事に終えら  
れて良かったです。これか  
ら子どもたちに食育の  
指導を少しずつでも進め  
ていきたいです。  
瀬戸山 花野(栄養士)



# 恵明キッズ ローズ ビレッズ



## 「できた」って嬉しい

二〇二四年度がスタートし、早いもので半年が過ぎました。

たんぼ組さんは、夏にはつくし組と一緒に水遊びを楽しみ、猛暑をのりきりました。可愛らしい水着を着て、「いつてきます」と元気に手を振って水遊びに向かうお友だちや、水が苦手で泣いてしまうお友だちもいました。お気に入りのおもちゃを見つけると嬉しそうに手に持って「みて、あったよ」と保育者に



見せてくれたり、お友だちに「これかしてあげる」と優しく声をかける姿も見られました。

楽しんで遊んだ後は、水着から洋服への着替えも頑張りました。四月初旬は、自分で上着が脱げず、「出来ない」「手伝って」と助けを求めてきましたが、次第に自分でやってみようの気持ち芽生え、自分で頑張ろうとするお友だちが増えてきました。出来なかつたことも毎日の生活の中で少しずつ習得し、できるようになると子どもたちは、とても嬉しそうにしています。

つくし組のお友だちも自分でズボンをはいたり、くつ下をはくことにも挑戦していて、出来た時には、「できた」と笑顔になっています。いつの間にか季節は秋になりつくし組、たんぼ組は外でたんぼを追いかけて芝生を駆け回りのびのびと身体を動かして遊んでいます。

あと半年で次の学年へステップアップします。子どもたちの「できた！」を大切に一緒に喜び合いたくさんの学びを通して、共に成長していきたいと思えます。

石井 茜(保育士)



## 子どもたちと一緒に

今年度が始まりあつたという間に半年が経ちました。私は以上見クラスのフリーとしてそれぞれのクラ

二階での生活、製作・・・と右も左も分からず少し不安気な表情で登園する事が多かったすみれ組が、今年度は朝のお支度がスムーズになり、堂々とお当番活動を行ったり、はさみを使っ

スに入ることがあります。「すみれ組からばら組までの二年という差でこんなにも子どもは成長するんだ」という事を日々肌で感じています。四月になったばかりの頃は、初めての制服、

日々の子どもたちとの生活の中で一緒に楽しみ笑い合い、時には驚き、喜びを受けながら一緒に成長していけたらと思います。人を思いやることを大切にしている保育を日々考えながら過ごしていきたいと思えます。

大沼 奈津海(保育士)



溜村 美鈴(保育士)

## 製作を楽しんで

今年度より、これまで行われていた十一月の作品展から展示時期を変え、一年を通じて季節に応じた素材を用いた製作活動に取り組んでいます。展示場所は子ども園の玄関先で、訪れた方が最初に目にする空間に子どもたちの作品を展示することになりました。展示する作品は、ばら組からつくし組までのクラスも季節をテーマにしたものです。夏には風鈴やうちわが並び風に揺れる風鈴は風情を感じさせ、見ているととても涼やかな気持ちになりました。

つくし組の子どもたちは初めての絵の具の感触に驚いたり、嫌がったりする様子も見られましたが、段階を踏んだ製作を通じて徐々に楽しみむようになりました。絵の具やクレヨンを使った体験は子どもたちの興味を引き、子ども園での経験のスタートの二歩となっています。「製作しよう」と声をかけると子どもたちの中には「製作する」と楽しみに

する様子が見られます。この期待感は製作活動への積極的な姿勢を育て、自己表現の楽しさを実感するきっかけとなっています。また玄関先で展示する作品を親子で楽しむ姿を見ると「上手だね」「素敵だね」という声子どもたちの自信に繋がっているようにも感じます。

今後もクリスマスや季節ごとの製作活動を通じて、それぞれの取り組みや成長過程を大切に、一人ひとりにスポットライトが当たる工夫をしていきたいと思えます。子どもたちがワクワクする楽しい製作活動が、子どもの心を育む未来へとつながることを願っています。

恵明キッズサクラビレッジ

4/6 土

なかよし  
サクラ  
祭り



新年度の始まり、満開の桜のもと、楽しい一日を過ごしました

こども園グループ  
2024 上半期

各こども園を会場に、恵明コスモス児童センターの主催で楽しい行事を行いました

恵明キッズローズビレッジ 5/18 土

なかよし  
ローズ  
祭り



みんな元気いっぱい取り組みました

恵明キッズフヨウビレッジ  
及びあじさい公園

7/6 土

なかよし  
紫陽花  
七夕祭り



園に隣接するあじさい公園におうちの方、地域の方とみんなで一緒にあじさいの苗を100本植樹しました。お水をやったり、様子を見たりして、あじさいの花がたくさん咲くの心待ちにしています。



各園の年長組のちびっこカミたち化粧まわしをつけ、土俵入り!

恵明キッズコスモスビレッジ 10/12 土

なかよし  
秋桜  
祭り



ハロウィンに因んで仮装するお友だちもいて、楽しい秋のお祭りになりました!



長泉町駿河平グランド 9/21 土

お天気や風の影響が少し心配でしたが、好天に恵まれ、元気いっぱいの1日を過ごすことができました。

なかよし  
3歳以上児  
運動会



永年勤続表彰



-2024年度三島市社会福祉太...  
会に於いて恵明キッズフヨウ  
ビレッジ嶺岸奈緒美さんが...  
永年勤続表彰されました。